

謹賀新年



中新田にぎわいづくり委員会と町の飲食店がコラボ
加美の素材をふんだんに使用した新メニューを作成
第2、第3弾と実施する予定です。

かみ商工会報

あなたが創る未来のサポートシステム

主な内容

- 年頭のごあいさつ ……2
- 宮崎支部・小野田支部・女性部
鍋まつり中止のお知らせ
新入会員紹介・理事会 ……3
- 色麻支部・女性部
編集後記 ……4

第48号

2022.1.18発行
編集発行人/中島信也

本所 ☎63-2734
小野田支所 ☎67-2427
宮崎支所 ☎69-5120
色麻支所 ☎65-4384

加美商工会ホームページ メールアドレス: kami@plum.ocn.ne.jp

加美商工会
LINEアカウントが
できました



年頭のごあいさつ

緊急経営支援



加美商工会長
中島 信也

新年のご挨拶を申し上げます。令和3年秋に収束と思われたコロナ禍は年末に変異したオミクロン株の出現で3回目のワクチン接種等有無、まだ世界的にも大感染の中での経済の復活を模索しています。

中小・小規模事業者への影響は、甚大で、まさに存亡の危機に直面しているといつても過言ではありません。我々は地域経済と雇用を支えるべく、投入された国・県・町の支援策をフル活用し、何とか持ちこたえている状況にあります。

県連合会としても県への引き続き要望として、支援制度の継続、コロナに加え大規模災害で増加した債務負担の軽減、GOTO事業の再実施、ウィズコロナ時代の事業再構築や申請の簡略化などです。

また国に対しても ①支援に対応する人員の配置 ②ビッグデータを活用した支援基盤整備 ③過疎地域の優先採択等、小規模枠の設定 ④デジタル化推進員の商工会設置

やIT導入促進費用の補助

⑤販路開拓支援で恩恵少ない小規模事業者への配慮 ⑥地方での起業・新分野展開支援

⑦補助金の通年公募化 ⑧地域を守る防災・減災の更なる推進や支援拠点としての商工会館の防災強化補助等々のあらゆる要望をしています。

本会としては、アフターコロナを鑑み、永年の間に高齢化や少子化で制度疲労を起している組織行事内容を見直し、また新たな実験イベントの構築を令和4年度には実施する予定で、従前より鋭意協議を重ねています。

会員の皆様のご理解とご協力、また行政の支援を頂きながら、引き続き経済復活に向け、尽力する所存です。どうか今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新春のご挨拶



加美町長
猪股 洋文

新年明けましておめでとうございます。加美商工会 会員の皆様方には、日頃より地域経済の発展と振興にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。皆様におかれましては様々な自助努力を重ねながら地域経済を下支えし、多くの雇用を守っていただいていることに心から敬意を表し感謝申し上げます。町としては、3回目のワクチン接種を

遅滞なく進めるなど、引き続き感染拡大防止に努めるとともに、地域経済の回復に向けた取り組みを行ってまいります。

さて、リモートワークの普及や田舎暮らしへの関心が高まる中、加美町では昨年よりクリエイティブな若者や企業を呼び込むための地方創生テレワーク推進事業に取り組んでいます。小野田地区では、リモートワークの拠点として、牛小屋を改修した「循環型サテライトオフィス」が運営を開始し、宮崎地区商店街においては、芸術家の拠点として空き店舗を活用した「古民家アトリエ」の整備が行われています。また、中新田地区では、漫画家いがらしみきおさんの「ぼのほの館」を図書館内に開設すると共に、商店街に「ぼの

ほのベンチ」を設置し、交流人口の拡大に取り組みむこととしています。コロナ禍により、デジタル社会が一層加速し、インターネットを利用した消費の拡大など新しい生活形態が定着してきている中、今後とも、地域経済を支える皆様と緊密な連携を取り、ご支援とご協力を賜りながら、持続可能な魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

結びに、今年一年が明るい年となりますよう祈念するとともに、貴会の益々の御発展と会員皆様方の御健康、御多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



色麻町長
早坂 利悦

新年明けましておめでとうございます。

令和四年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。加美商工会、会員の皆様方におかれましては、新たな希望を胸に穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

一昨年来より世界的に流行した新型コロナウイルス感染症による影響により厳しい状況が続く、日本経済は大きな打撃を受け、予断を許さない状況が続いております。

会員の皆様も多大な影響を受けられており、大変ご苦労された年だったと察しております。その影響は未だ続いており、一日も早い終息を願わずにはいられません。町では引き続き、国や県の動きを注視し、適時適切に各種支援策を講じて参りたいと考えております。

そのような状況下でも、会員の皆様には地域の賑わい創出のための各事業を実践いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者及び一般消費者の支援として、一昨年から開催されております「かっぱ夕市」が、昨年は、開始時間を改め「かっぱ市」として二日間開催され大好評だった事に対し、深く感謝申し上げますとともに、コロナ禍における新しい販売方法に感

じ取れました。また、本町の冬の風物詩となっている「しかまの冬★イルミネーション」については、規模を縮小してでも実施されたことに深く感謝を申し上げます。結びに、本年は寅年であります。寅年は「動」の意味があり、また、植物の例えとしては、草木が初めて地上に生ずる状態を表し、芽の出たものが成長していく年とも言われておりますので、会員の皆様のご発展につながる良き一年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年末・年始大売出し

宮崎支部

宮崎地区では毎年、年末・年始大売出しを開催しています。今年度は売出し期間を12月6日から1月3日までとし、期間中、加盟店で買い物をされた方に抽選券を配布して、1月2日、3日に抽選会を開催しました。抽選会の賞品は、加盟店で使用できる商品券で、特等20,000円から5等20円までハズレ無しで当るのを売りとしています。毎年、お年寄りや子供達、また、帰省中の人達が来場

して、4、5枚の抽選券を持って来る人もいれば、100枚以上の抽選券を持って来る人もいて、行列ができる事も度々ありました。全部で3,259枚の抽選券があり、本当に地元で愛されているこの行事をこの先も続けて行きたいと思えます。

宮崎支部 猪股 武志



第21回

「うめえがすと

鍋まつりin加美」

中止のお知らせ

毎年2月11日に開催しております「うめえがすと鍋まつりin加美」の開催につきまして、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、飲食を伴うイベントが中心であることから万全な感染防止対策を十分にとる事が出来ないかと判断したため、昨年より引き続き中止することをお知らせいたします。

小野田支部

やくらいスノーファンタジー

やくらいスノーファンタジーへの御協賛及び御協力心より感謝申し上げます。景気は決して良いとは言えない中でのお願いでも快く御協賛いただいた事は、加美郡の強い繋がりを知り私達スノーファン実行委員会の誇りとなりました。前回のスノーファンはコロナ対策をしての開催となりました。かみっ子が参加したペットボトルの雪あかりには自分の事より周りの人々が元気になるようにとのメッセージ。

疫病退散とみんなで笑顔になれるようにとの思いの花火。皆様のお力添え無くしては無かったスノーファンです。来場者様からの声です。「ありがとうございます」「コロナ禍で落ちていた気持ちに楽しになりました。」「加美の人達の力つてなんなんですか」加美の繋がりが誇りとなりました。

今年のスノーファンは2月5日(土)。多くの加美人に支えられながら開催いたします。

やくらいスノーファンタジー実行委員会

女性部

小野田支部女性部活動報告

十月二十八日、西部デイサービスにて七月に続き二回目の除草作業のボランティア活動を行いました。十一月二日は、「街並みに明るい彩を」とパンジーの花をプランターに植え、小野田支部女性部員の店舗に据え置きしました。十一月五日、やくらいサンホームへ小野田支部女性部独自でタオルやせつけんの寄贈を行いました。

小野田支部 黒田 弘子



新入会員紹介

◆美容ケイ

代表 三浦 慶子

住所 加美町字赤塚292-11

63-7129

◆株式会社イシカワ

代表 石川 義晴

住所 色麻町高城字上ノ原34

090-1825413336

業種 事務機器等小売業

令和4年1月6日現在
会員数 697名

第3回 理事会 《提出議案》

開催月日 11月2日 開催場所 加美商工会 本所 出席役員 20名

第1号議案

新規会員加入承認並びに脱退報告の件について

第2号議案

統一服務規程の一部改正(案)承認の件について

第3号議案

加美町・色麻町への令和4年度補助金等要望について

消費者・飲食店応援企画

「かっぱ市」開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費者・飲食店応援企画「かっぱ市」を今回は「かっぱ市」と名称を改め10月23日と11月6日の2回、かっぱ笑会（1回目）及び色麻町民体育館（2回目）を会場に開催いたしました。

会場内に合わせて24事業者の出品・出店があり、それぞれが工夫を凝らしたオリジナル商品等が一堂に集まりました。

周知活動の効果、そして町内を中心とした住民の方々の深いご理解とご協力により予想を上回るお客様にご来場いただき、多くの商品が完売し出品事業者の売上に貢献することができました。

そして出品・出店された各店舗には「かっぱ市」の来場者が直接来店し消費に結びつく等、大きな広告宣伝効果を得ることができ、事業者のモチベーションアップにも繋がりました。本年はアフターコロナに向け、「かっぱ市」の魅力を事業者にフィードバックし、色麻町の魅力ある店や商品を地区



外にも積極的にPRしていくような事業展開を検討中です。

今回の事業運営につきまして、本イベントの趣旨をご理解の上、多大なるご協力をいただきました皆様、心より感謝申し上げます。コロナの早い終息を祈念いたします。

「やってみよう！
しかままちづくりの会」
会長 早坂 祥悦

加美商工会女性部

広域エリア別指導者研修会

商店街の街路樹が深く色づいた十一月十日、加美商工会本所にて女性部研修会が開催されました。

今回はフリーアナウンサーの石川太郎氏をお迎えし、「アフターコロナ時代を生き抜く接客術」と題し講演をいただきました。

石川さんは昨年三月に東北放送を定年退職され、現在はTBCラジオ「エン・ポヤージュ」等でご活躍されています。

今回の講演では、番組を通して出会った全国の企業経営者の事例を紹介しながら、商品が出来るまで。プロセスがその価値を高めるといってお話をいただきました。

講演前に石川さんは「ご参加ありがとうございます。ご挨拶に回られ、また講演冒頭には「仕事を終えて集られた皆さんに私から拍手をしたい」と仰って、マイクを置き拍手をされました。

講演内容はもちろんですが、石川さんのお人柄や細やかな心くばりから大切なことを学ばせていただいたように思います。



最後に、中新田花楽小路に石畳ができた頃にふれて「商店は個人の財産ですが、商店街は地域の顔です」とのお言葉が印象的でした。
中新田支部 小林 貞子

編集後記

明けましておめでとうございます。新春を迎えながらも「コロナで暮れ、コロナに明けるといったところでしようか。振り返りますと、私たちの日常生活を含め、古来からの良き文化や伝統行事・風習などの考え方も、大きな変化と意識改革を提案したが、この「コロナ禍」でした。昨年のお盆はオンライン帰省や墓参りという新事業もテレビやネットにぎわえました。実家の父母や祖母とはテレビ電話などで元氣な姿を確認し、里帰りに変えた方も多かったです。家族・親戚や地域住民との絆や繋がりが希薄化しつつあると言われるのは、今の時代改善改革は絶えず必要ですが、良き慣わしを続けることも大切なのではないのでしょうか。「ピンチをチャンスに変える」という言葉をよく耳にします。厳しい状況にも前向きに対応しようというところで、皮肉な見方をすれば、人は切羽詰まり土壇場に追い込まなければ変われない、と言っているように聞こえます。地域行事についても、中止・縮小・簡略化が続くコロナ禍、今年は復活させるという意志を持って、地域の活性化や住民のふれあいを深めるため、知恵を出し工夫して継続継承することが大事だと考えています。新型コロナウイルスは地球上から消え去ることはなく、長い付き合いが始まります。人は楽を覚えれば苦の道は選ばない。「コロナに負け」昨年の実績が定着し、これが普通で当たり前のことを懸念しています。予期せぬ感染症との闘いに一日でも早く勝利し、さわやかな明日を迎えられる時を、待ち望んでいる今日この頃です。 中村 文紀

★会報編集委員（敬称略）

- 委員長 関 文
- 副委員長 中村 文
- 委員 鈴木 浩行
- 委員 猪股 武志
- 委員 早坂 祥悦
- 委員 黒田 弘子